

# 「医療と介護の連携による自立支援」研修会・発表会の発表事例の募集

医療と介護の連携により高齢者の自立につながった取組事例を、医療・介護関係者をはじめ、行政、県民の方に知っていただくため、「医療と介護の連携による自立支援」研修会・発表会を開催します。

皆さまが日ごろから取り組んでおられることを発表していただき、県内で医療と介護の連携による自立支援に向けた取組みが普及することを目指します。是非御応募いただきますようお願いいたします。また、当日の発表者の中から特に自立に資する事例を選考し、表彰する予定です。

## 1 発表対象者

介護療養型医療施設、介護老人保健施設、広域リハビリテーションセンター、サービス付き高齢者向け住宅、短期入所生活介護事業所、短期入所療養介護事業所、地域密着型サービス事業所、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所、特定施設入居者生活介護事業所、特別養護老人ホーム、訪問介護事業所、訪問看護事業所、訪問リハビリテーション事業所及び有料老人ホームの職員、または介護事業所や個人のグループ等

## 2 事例発表

- (1) 発表時間は、1人10分とします。発表後、ポスターセッション形式で、発表事例の詳細な内容について、参加者の質問に答えながら説明を行います。
- (2) 発表者は、所定様式の「事例内容報告用紙」にまとめ、3月1日(木)までに県医師会事務局へ提出してください。なお、「事例内容報告用紙」原稿とは別に、発表当日用のデータ（パワーポイントで原則24枚以内にまとめること。）を作成し、3月2日(金)までに別紙様式によりCD、メール等で提出願います。
- (3) 発表者が多数の場合は、審査委員会で選考します。
- (4) 本募集については、熊本県医師会及び熊本県のホームページにも掲載しています。  
ホームページURL  
熊本県医師会 HP (<http://www.kumamoto.med.or.jp/>) → 講演会のご案内  
後日、熊本県のホームページにも掲載されます。
- (5) 既に発表済みの事例の応募も可能です。
- (6) 対象となる発表事例  
【例示】  
・介護保険施設・事業所と医療職の連携により、介護施設や自宅で、本人が希望す

る看取りを支援することができた。

- ・入退院を繰り返していた方に医療と介護の連携により適切なサービス提供をした結果、入退院を繰り返さなくなった。
- ・医療及び介護サービスを一体的に提供したことにより、要介護度が軽度化した。
- ・退院時に医療・介護関係者の連携により在宅生活の環境を整え、在宅での生活が困難と思われていた方が自宅に帰ることができた。 等

### 〔発表者募集から発表までの流れ〕

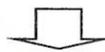
発表事例募集期限	概要	平成 30 年 3 月 1 日(木)
	発表データ	平成 30 年 3 月 1 日(木)



3 月初旬 選考委員会開催 (6 事例を選定)



3 月初旬から 発表者へ決定通知送付



3 月 8 日(木)発表資料の最終締め切り(訂正等)



3 月 13 日(火)発表(6 事例)

#### ※資料送付(送信)先

〒860-0806 熊本市花畑町1番13号 公社) 熊本県医師会

TEL 096-354-3838 FAX 096-322-6429

E-mail kawakami-office@kumamoto.med.or.jp

# 「医療と介護の連携による自立支援」研修会・発表会の発表事例の選考方法

## 1 選考委員

熊本県医師会、熊本県看護協会、熊本県老人保健施設協会、熊本県老人福祉施設協議会、熊本県から各1名の計5名

## 2 発表者募集から発表までの流れ

- (1) 平成30年3月1日(木) 発表事例概要募集期限
- (2) 平成30年3月1日(木) 発表データ募集期限
- (3) 3月初旬 選考委員会開催(6事例を選定)
- (4) 3月初旬から 発表者へ決定通知送付
- (5) 3月8日(木) 発表資料の最終締め切り(訂正等)
- (6) 3月13日(火) 発表(6事例)

## 3 発表事例の選考方法

発表事例は6事例までとし、応募事例の中から事前に選考委員が選考する。

### (1) 審査方法

別紙「医療と介護の連携による自立支援」発表会選考委員会審査用紙」により選考委員が5段階評価により審査を行う。

大変良い(5点) 良い(4点) 普通(3点) 悪い(1点) 大変悪い(0点)

### (2) 審査項目

- ① 自立支援度：自立支援に資する取組みであったか。
- ② 医療介護連携度：医療と介護の職種間連携が出来ている内容であったか。
- ③ 発表力：わかりやすい発表であったか。

### (3) 審査基準

全委員の合計点数が45点以上(全項目「普通」以上の評価)の事例のみを発表事例に決定する。

## 4 表彰事例の選考方法

### (1) 審査方法・審査項目

「3 発表事例の選考方法」と同様とする。

### (2) 審査基準

別紙「「医療と介護の連携による自立支援」発表会選考委員会審査用紙」により選考委員が採点し、その合計点数が高い順に表彰する。

## 5 表彰

- (1) 当日発表者の中から、上位3事例に県知事賞、熊本県医師会賞、選考委員特別賞に賞状と賞品を贈呈。
- (2) 講評：選考委員

演 題	(16p,右寄せ、下付き線)		キ ー ワ ー ド	(12p,右寄せ)	
				(12p,右寄せ)	
				(12p,右寄せ)	
副 題	(13p,右寄せ、下付き線)				
県・市町村名(12p,右寄せ)		施 設 名	種別と施設名(12p,右寄せ)		
発 表 者	職種と氏名(12p,右寄せ)		共 同 発 表 者	いる場合(12p,右寄せ)	
				いる場合(12p,右寄せ)	
問 合	E-mail Address もしくはFAX番号(12p,右寄せ)				
今回の発表の施設 またはサービスの 概要	自立支援を行うために必要な医療と介護の連携した取組みについて、市町村、医療機関、 施設的环境を含む、実施サービス説明等について記載下さい。(10p,左寄せ)				
<p>〈自立支援が必要となった経緯〉 ここでは、今回の取組みをはじめのきっかけ となった状況や、抱えていた課題を具体的に記載 してください。(10p,左寄せ)</p> <p>〈具体的な取組み〉 問題解決のための取組みの具体的な内容〈対 象者、医療機関等との連携方法、関わった人員(人 材)構成や取組みの手法や手順、施設内の連携、 必要としたツールや費用など、活動成果を出すポ イントになった点〉を記載してください。 特に、費用や必要な時間は、他の方々が取組み 際の参考になるように、分かる範囲で積極的に記 載してください。(10p,左寄せ)</p>			<p>〈活動の成果と評価〉 今回の取組みの成果をなるべく箇条書きで、 極力具体的な数値を示して記載してください。 また、成果や取組みに対する利用者の反応、 自己評価(うまくいった、失敗だった、このよ うな所が足りなかった)なども、積極的に記載して ください。(10p,左寄せ)</p> <p>〈今後の課題〉 今回の取組みの成果を踏まえ、今後、必要な 取組みと事業の継続性とその広がり方や追加 的に必要と考える人材(職種)。(10p,左寄せ)</p> <p>〈参考資料など〉 この事例と同様の取組みを行おうとした時 に、参考とすべき資料があれば記載してくださ い。(10p,左寄せ)</p>		
事務局 使用欄					

演 題			キ ー ワ ー ド	
副 題				
	施 設 名			
発 表 者		共 同 発 表 者		
問 合				
今回の発表の施設 またはサービスの 概要				
事務局 使用欄				